

吉野ヶ里町 社協だより

第
16
号

No.16／
2010.9.16発行



今月の表紙／
吉田地区の岡 規美さん(78歳)は、種から育てたひょうたん(ひょうたん)に心を吹き込まれました。現在吉野ヶ里町三田川健康福祉センターふれあい館のロビーに約570点の削りだしひょうたんや人形、壁掛け等の作品を飾りつけております。10月上旬まで展示予定です。

 社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

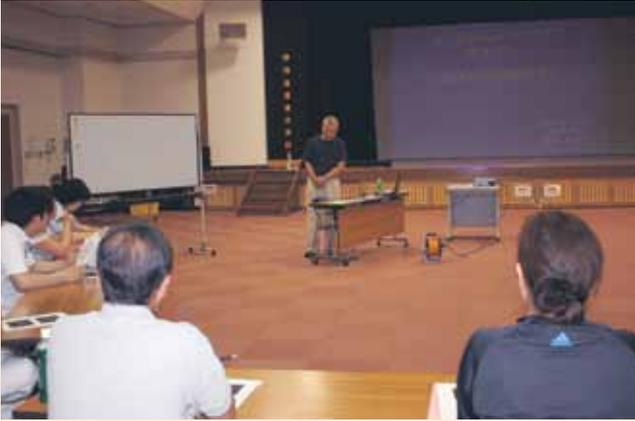


社協 メタボ 教室

社協メタボ教室6月21日～19回
実施しました。

講師の先生や、仲間達とウォーキングを中心にごんばってきました。

皆さんメタボというより、「健康について学びたい」という方々でした。



「すこやかウォーキングと体力づくり」
隈本整骨院：隈本先生



「ウォーキングを始めるにあたって」
健康科学研究所：平石先生



「メタボリックって？」
西九州大学：長住先生



「ストレッチを始めるにあたって」
インストラクター：田中先生



「身体と栄養」
大塚製薬：岩崎先生



「食事を見直してみよう」
桂寿苑：七浦先生



東春振中学校よりプルタブ、古切手、使用済み
テレホンカードのご寄付がありました。

吉野ヶ里町の福祉に役立ててくださいとの
お申し出でした。

皆様のご厚意ありがとうございました。

介護福祉士国家試験対策講習会開催

日程 平成22年
10月4, 18, 25日
11月1, 8, 15, 22, 29日
12月6, 13日

時間
19:00～21:00

【問い合わせ・申し込み先】 ☎52-7831 吉野ヶ里町社会福祉協議会(野中)

ふれあい映写会

8月2日(月)に東春振小学校の児童を対象に、きらら館にて「ふれあい映写会」を開催しました。
今回は「仲間の大切さ、相手を思う気持ちを育てよう」をテーマに映画「あらしのよるに」を鑑賞しました。

オオカミとヤギの間に生まれた実際ではありえない友情物語で原作は220万部を超えるベストセラーとなっているそうです。

100分程の上映でしたが1年生から6年生まで熱心に観てくれました。小学2年の女の子は、「友達を大事にし、優しくしたいです。」と答えてくれました。

学校からきらら館まで雨の中の移動も大変だったと思いますが、例年ながら皆さんの行動の機敏さには感心させられました。



認知症見守り隊養成講座

6月27日、日曜の午前中にも拘わらず、多くの皆様(約100名)に参加いただきました。

西九州大学の小松洋平先生、きんりゅうケアセンター桂寿苑の多良弘典先生の講義を聴き、また桂寿苑一座の寸劇を見ながらわかりやすく認知症について学びました。

講演の最後には、見守り隊員になりたいと多くの皆様が携帯登録をしてくださいました。

今後、当社協より多くの情報を発信していきたいと思えます。



手紙～親愛なる子供たちへ～をもとに寸劇が作られました。
最期の 手紙 の朗読は涙を誘いました。

手紙 ～親愛なる子供たちへ～ 原作詞 不明

年老いた私が ある日 今までの私と違っていたとしても
どうかそのままの私のことを理解して欲しい
私が服の上に食べ物をごぼしても 靴ひもを結び忘れても
あなたに色んなことを教えたように見守って欲しい
あなたと話す時 同じ話を何度も何度も繰り返しても
その結末をどうかさえぎらずにうなずいて欲しい
あなたにせがまれて繰り返し読んで絵本のあたたかな結末は
いつも同じでも私の心を平和にしてくれて
悲しい事ではないんだ 消え去ってゆくように見える私の心へと
励ましのまなざしを向けて欲しい
楽しいひと時に 私が思わず下着を濡らしてしまったり
お風呂に入るのをいやがる時には思い出して欲しい
あなたを追い回し 何度も着替えさせたり 様々な理由をつけて
いやがるあなたとお風呂に入った 懐かしい日のことを
悲しい事ではないんだ 旅立ちの前の準備をしている私に
祝福の祈りを捧げて欲しい
いずれ歯も弱り 飲み込む事さえ出来なくなるかも知れない
足も衰えて立ち上がる事すら出来なくなったらなら
あなたが か弱い足で立ち上がろうと私に助けを求めたように
よろめく私に どうかあなたの手を握らせて欲しい
私の姿を見て悲しんだり 自分が無力だと思わないで欲しい
あなたを抱きしめる力がないのを知るのはつらい事だけど
私を理解して支えてくれる心だけを持っていて欲しい
きつこそれだけでそれだけで 私には勇気がわいてくるのです
あなたの人生の始まりに私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい
あなたが生まれてくれたことで私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい
私の子供たちへ
愛する子供たちへ



緑生館のボランティアの
学生さんとメールアドレス
を登録していただく

認知症見守り隊養成講座

in 東脊振中学校

8月20日(金)に東脊振中学校で認知症見守り隊養成講座を開催しました。

校長先生より「子ども達も地域でできることを何かしたいと思っています。」とのお申し出をいただきました。

暑い体育館の中でしたが、皆さん一生懸命講師の先生の話に耳を傾けてくれていました。

はじめに、小松先生による認知症についての知識や現状、問題点についての講義をしていただきました。その後、多良先生に事例を基に認知症を抱える方への理解、接し方を学び認知症見守り隊の役割がどのようなものなのかをお話いただきました。



西九州大学：小松洋平先生



きんりゅうケアセンター桂寿苑：多良弘典先生



伝言ゲームをし、脳の伝達の衰えの説明を受けました。
中学生がこのような隊員になる例が少ないとのことで、NHKの取材を受け、8月21日(土)朝のニュースの中で紹介されました。

遊びながら学ぼう

近年は物があふれ、傷ついたり、飽きたりすればすぐ捨てたり、次の物を買う。また物を大事に扱わない人が多くなりました。そこで、エコ、リサイクル、環境、物づくりをテーマに8月26日(木)～27日(金)に吉野ヶ里町三田川健康福祉センターにおいて、ものづくりキャンプを行いました。参加者は町内の4年生～6年生の16名が参加してくれました。

はじめに、リサイクルセンターからもらってきたペットボトルでペットボトルロケットを作りました。切り口にマジックでラインを引き、はさみやカッターで切り3本のペットボトルを組み立て、テープで固定し羽根をつけて完成です。あっという間に1時間が過ぎ多目的グラウンドへ急ぎました。グラウンドに発射台を設置し発射大会です。まっすぐ飛んでいくロケットや斜めに飛んでいくロケットさまざまです。その中でも一番飛んだのはなんと63メートル。水を噴出しながままっすぐ飛んでいきました。

その後、どんぐり、落ち葉、木の枝などを使って、トトロの置物や落ち葉で作った壁掛けなどを作りました。みんなお土産屋さんにも売れそうならいすばらしいものができて満足そうでした。

休む間もなく、今度は夕食づくりにとりかかりました。献立は、ハンバーグ、サラダ、バターコーン、ワンタンスープです。職員の指示のもと、みんな人参や玉ねぎを刻んでいきました。出来上がりは上々、みんなで作った料理はおいしかったようです。夜は、西九州大学の学生さんやボランティアのお兄さんと一緒に楽しくはしゃぎまわっていました。

2日目は、朝からラジオ体操、朝食、それから27日のメインであるパソコンで絵日記を思い思いに描きました。帰る頃には、三田川校区、東脊振校区を問わずみんな仲良くなってくれました。「来年は2泊3日にしてねー」との声でした。

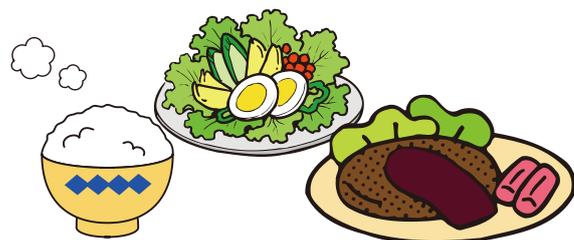


楽しくはしゃぎまわっていました。

2日目は、朝からラジオ体操、朝食、それから27日のメインであるパソコンで絵日記を思い思いに描きました。

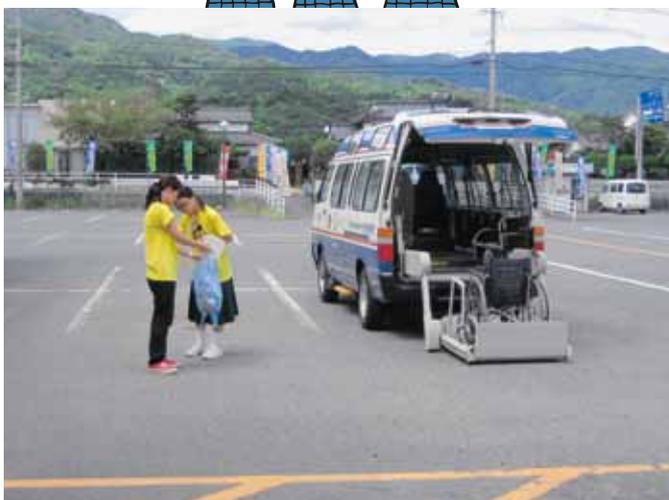
帰る頃には、三田川校区、東脊振校区を問わずみんな仲良くなってくれました。

「来年は2泊3日にしてねー」との声でした。



24時間テレビ街頭募金

8月29日(日)にサンプラザ、ショッピングセンターマルシェの店頭をお借りして、今年も24時間テレビ街頭募金を実施しました。ボランティアに三田川中学校から20名、東脊振中学校から17名の生徒さんが参加してくれました。炎天下の中、募金に訪れていただいた皆さん、ボランティアに参加いただいた皆さん、店頭を快く提供いただいた関係者の皆さんに感謝いたします。



生徒さんが清掃活動を買って出てくれました

Mさんの感想

私は今年3年目の参加でした。今年はずっと暑い中たくさんの方々に募金をしていただいてとってもうれしかったです。中には去年から募金のために貯めていてくださっている方もいて感動でした。私はこの貴重な体験をしてとってもよかったなと思いました。これからもこのような体験をしてみたいと思いました。

寄付御礼



社会福祉のために役立ててくださいと、次の方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)

社会福祉法人吉野ヶ里町社会福祉協議会 会長 小池 淳

香典寄付

謹んで故人のご冥福をお祈りします。

寄付者名	地区	故人氏名
古賀新太郎様	吉田	亡妻 諒子様
中原 光一様	豆田	亡父 九一様
馬場 初江様	吉田	亡夫 宗司郎様
宮本 英輔様	吉田	亡父 謙吉様
吉岡 和成様	吉田	亡祖父 要様
中村ハルヨ様	吉田	亡夫 光雄様
生島ヨシ子様	箱川	亡夫 和義様
日野 良和様	吉田	亡妻 政子様
江口 ハル様	吉田	亡夫 満資様
西津 正喜様	吉田	亡母 八ツ工様
佐藤 隆様	吉田	亡母 イチ様
野上フミエ様	吉田	亡夫 定雄様
田中 彌生様	立野	亡父 善吾様
西村トミエ様	箱川	亡夫 清治様

東脊振地区

寄付者名	地区	故人氏名
築地 久徳様	松隈	亡子 大輔様
香月アヤ子様	大曲	亡夫 晴二様
伊香賀 豊様	三津	亡妻 愛子様
城島 昌之様	大曲	亡母 輝子様
横手 靖幸様	石動	亡母 君江様
中島 安則様	大曲	亡父 安夫様
向井 敬三様	石動	亡妻 タマエ様
福成 重敏様	三津	亡妻 政子様

町外

寄付者名	地区	故人氏名
中島 良之様	東京都	亡母 中島マサミ様
眞崎美貴子様	大阪府	亡父 西村 勝義様 (天曲)

認知症見守り隊 徘徊模擬訓練

平成22年 11月20日(土)

●認知症徘徊模擬訓練の開催

近年認知症徘徊による行方不明者(自分の居場所が分からなくなったり、知っているはずなのに道を間違えて迷子になる)が増えています。全国的に認知症の罹患者は230万人と言われていています。ただ、認知症は高齢者だけの病気ではなく、早い人は40歳代で発症する方もいらっしゃいます。そこで、吉野ヶ里町社会福祉協議会は、認知症になっても安心して過ごせる街づくり・環境づくりを目指しています。「町内どこでも、みんながみんなを見守り・支えあう福祉の街づくり」「向こう三軒両隣」を合言葉に

平成22年11月20日(土)に認知症徘徊模擬訓練を行います。皆様のご参加をお願いいたします。



三田川地区、東脊振地区にそれぞれ10名ずつ認知症高齢者役を配置し、声かけの練習をしていただきます。高齢者役の人は、緑色のジャンパーを着ています。ちょっと勇気を出して声をかけてみましょう。

ボランティアスタッフ募集

模擬訓練時の徘徊役・運営スタッフを募集しております。いっしょに町づくりをしませんか。(連絡先:52-7831)